

歴史探訪

クラブ! 其の131

History Inquiry Club



文化財課 ☎23局 3635
FAX 22局 3811

活かされた建物

●田原中部小学校の校舎

田原中部小学校は、平成16・17年に大改修が行われました。西端の古い校舎（RC造、昭和9年建築）は外装・内装を新たに、そのまま使われました。この校舎は、市内に残る古いRC造の建物の一つですが、耐震上問題もなく、それだけ構造がしっかりしていたのです。また、無駄を省いたシンプルなデザインなので、それに合わせて改修され、昭和初期の歴史の趣ある学び舎となり

●福江市民館（旧渥美町役場）



●新しく生まれ変わった中部小学校

ました。正面の校章も誇らしげです。また、同じ敷地内にあった田原町立技芸専修女学校（RC造・昭和5年）は、現在は田原市民俗資料館となっております。

福江市民館は、平成21年7月に開館しました。旧渥美町役場・渥美町商工会としても使われたこの建物は、昭和5年に昭和天皇の即位を記念し、福江町役場として建設されました。田原市を代表する古いRC造の建物で、正面の屋根・軒の凝った造りに、当時の設計者のこだわりが感じられます。このこだわりが、多くの優秀な職人さんたちを育てていったでしょう。玄関は、今の時代に合わせて開放的な形に作りかえ



●旧福江町役場(昭和10年ごろ)



●現在の福江市民館

られています。市民館の前には、建築当時の写真や説明、由来が記された看板が設置されています。とても良いことだと思います。

今回ご紹介した歴史ある建物が残されたことは、大変喜ばしいことです。これらの建物には、地域の方々の思い出がまつまっています。そして、子どもからお年寄りまで、共通の思い出として、人々の心にも残り続けていくことでしょう。建物を通じて人々の心がつながっていく。とてもすてきなことだと思います。歴史というものは、そのような役割もあるのでしょうか。

過去に造られた建造物、日用品や道具、美術品など、今では手に入らない材料や手の込んだ意匠・発想は、新しいものを作り上げていく人たちに刺激を与えています。また、歴史の重み加われば、なおさらです。古

いものは新しい物や発想、時には未来を生きる原動力となります。思い出だけでなく、これらの建物にもそのような力があるに違いありません。

※RC造：鉄筋コンクリート造

(増山)

今月の「表紙」

▼池ノ原公園から椿公園に通じる小道は「椿の道」と呼ばれています。その昔、武家屋敷との境に植えられていた椿の木は生垣として残され、今でも面影を感じることが出来ます。椿の道を歩いていたら、昔は椿の蜜をおやつがわりにしたり、椿の実を集めたりしたことを思い出しました。(O)

【表紙の写真】椿の道(田原町)